

## 個別施設計画

策定年月日

令和3年2月10日

1 対象施設・施設概要					
施設情報					
施設名称	宮城大学	所管所属名称	公立大学法人宮城大学 (私学・公益法人課)		
公共施設等総合管理方針施設分類					
大分類	公共用施設	中分類	地方独立行政法人施設	小分類	大学
主要建物概要					
構造	鉄骨鉄筋コンクリート	用途	校舎	建築日	(大和)平成9年1月30日 (太白)昭和47年3月24日
経過年数	(大和)23年 (太白)48年	耐用年数	(大和)50年 (太白)50年	目標使用年数	(大和)65年 (太白)65年
運営方式	直営	管理者名称	公立大学法人宮城大学	全延床面積(m <sup>2</sup> )	71,724.38m <sup>2</sup>
所在地	(大和)黒川郡大和町学苑1番地1 (太白)仙台市太白区旗立2丁目2番1号				
2 計画期間					
計画期間は第3期中期計画期間(令和3年度～8年度)の6年間とする。その後、第4期中期計画(令和9年度～14年度)策定に併せて、令和8年度中に本計画を更新する。					
3 点検・診断によって得られた個別施設の状態					
別添「点検結果」のとおり					
4 当該施設の必要性					
設置根拠規定等	学校教育法第2条, 地方独立行政法人法第68条ほか		必要性の有無	有	
業務内容	公立大学の運営				
必要性の判断理由	宮城大学は平成9年に県立大学として開学後, 平成21年4月に公立大学法人に移行しており, 県内唯一の公立大学として, 地域社会の各分野において活躍する人材の育成, 地域との連携・協働を積極的に実施している。多くの学生が在学しており, 施設の必要性は高い。				
5 施設ごとの今後の対策					
管理に関する基本的な考え方を踏まえた施設の管理方針	宮城大学(大和キャンパス)は, 令和2年度にデザイン研究棟が完成したが, 開学時に設置したその他の施設は築20年以上が経過し, 教育・研究環境の変化や老朽化への対応がなお必要となっている。また, 太白キャンパス及び坪沼農場は, 平成17年に食産業学部が設置された際に改修もしくは新築された施設と, 旧農業短期大学時代から継続利用している施設が混在しており, 特に, 昭和40年代に建築された建物等については老朽化への対応が必要となっている。今後は, 修繕・更新による現行機能の維持を計画的に実施するとともに, 研究・学習環境確保や利用者の安全性向上の観点から, 優先順位を考慮した修繕・改修を計画的に実施し, 公共的教育施設として必要な安全性を確保するよう努めていく。 なお, 目標使用年数は, 宮城県公共施設等総合管理方針における推計条件を準用し, 法定耐用年数の30%増とする。				
施設間・対策間の優先順位の判断内容	大和キャンパス各棟(デザイン研究棟を除く)は建設以来23年が経過し, 電気・空調・衛生等の各設備は, それぞれ耐用年数の15年を大幅に超えて使用しているため, 経年劣化が進行している。故障が起き, 修理が必要となっても, 部品が製造中止のものがあり, 対応が困難な状況となっているほか, 照明設備については, 蛍光灯や水銀灯の製造終了を踏まえ, LED照明への移行が急務となっている。 このため, 令和3年度以降, 電気・空調・衛生の各設備で, 機器の更新や修繕を順次実施するとともに, 昇降機や自動ドアの修繕及び更新を行うことで施設内のインフラを適正な状態に改善し, 施設の長寿命化を図るものである。 太白キャンパスにおいては, 令和3年度以降, LED照明への移行等の電気設備の更新・修繕と各棟の空調設備の更新を計画的に行い, 大学環境の保全を行うものである。				
6 対策内容, 時期及び概算費用					
別添「第3期中期計画期間における大規模修繕実施計画」のとおり					
7 財源内訳					
別添「財源内訳資料」のとおり					